



令和8年度（2026年度） 学術研究助成募集要項

令和7年8月25日

公益財団法人 ひょうご科学技術協会
<https://hyogosta.jp>

学術研究助成事業

【令和8年度（2026年度）学術研究助成のご案内】

当協会は、兵庫県における科学技術振興の中核的機構として設立されて以来、県内に在勤又は在住する研究者・技術者を対象に、科学技術分野に属する各種の研究助成を実施してきました。

2026年度においても、県内における一層の科学技術振興に資するため、若手研究者による創造的・萌芽的研究から、基礎的・基盤的な研究や産業の高度化に貢献する応用的・実用的な研究に至るまで、研究資金を助成します。

大型放射光施設「SPring-8」やX線自由電子レーザー施設「SACLA」、スーパーコンピュータ「富岳」や「FOCUSスパコン」などの優れた県内の研究基盤を活用した研究をはじめ、広く研究計画を募集しますので、大学・研究機関や企業等の研究者・技術者の皆様からの積極的な応募を期待します。

I 募集の概要

1. 助成の対象者

兵庫県内に在勤又は在住する研究者・技術者（グループ研究の場合は、その研究代表者）、かつ当該研究について所属機関の承諾が得られる方。

※採択後、所属長（学部長相当職以上）発行の承諾書が必要です。

※助成金は所属機関において出納を管理していただきます。

※助成期間中においても本要件を満たすことが必要です。

※申請日現在、県外の大学等研究機関に在籍している方も、助成年度の4月1日時点で兵庫県内に異動予定であれば申請いただけますのでその旨記載してください。

※原則過去3年以内（令和5年度以降）に同じ研究課題で当助成を受けられた方は対象外とします。

2. 助成の対象

助成の対象は、健康、福祉、環境、安全、食糧などの生活関連の研究開発分野並びに物質、情報、エネルギー、生命などの産業関連の基盤的研究開発分野に属する独創性、発展性ある研究課題または独創的な新技術の創出、新しい現象の発見や解明、新しい原理や理論の構築等をもたらすことが期待される研究課題です。

3. 系の区分と対象分野

系の区分	対象分野
医学・薬学・看護系 (科研費大区分：H, I)	基礎医学、臨床医学、薬学、看護学、スポーツ・健康科学、人間医工学等
生命科学・農学系 (科研費大区分：F, G)	農学、農芸化学、獣医・畜産学、分子生物学、発生生物学、細胞生物学、遺伝学、神経科学等
理学系 (科研費大区分：B, E)	数学、物理学、宇宙・地球科学、プラズマ学、有機化学、無機化学、物理化学、高分子化学、生体分子化学等
工学・情報・学際系 (科研費大区分：C, D, J, K)	電気電子工学、材料工学、化学工学、応用物理、機械工学、土木工学、建築学、計測制御工学、ロボット工学、資源・エネルギー工学、情報(工)学、防災工学等

※上記4つの「系の区分」ごとに審査を行います。

4. 助成金額： 100万円以内/件
5. 対象経費： 設備備品費、消耗品費、借料・損料、資料費、印刷費、旅費、研究協力謝金、通信・運搬費、その他研究に直接必要と認める経費
6. 助成対象期間： 2026年4月1日～2027年3月31日の1年間
※ただし、進捗状況により1年に限り延長を認める場合があります。
7. 助成件数： 30件程度
8. 助成金交付： 2026年6月予定
※交付された助成金は、所属する組織の事務局で管理していただきます。他の研究資金と明確に区分して適正な管理・執行に留意してください。また、2027年3月31日までに全ての経費の支払を完了することが必要です。

II 募集期間

2025年9月1日(月)～10月10日(金) WEB受付分まで

当協会ホームページよりダウンロードした申請書(様式1)に必要事項を記入の上、「応募サイト」より申請してください。(郵送・持参不可)
※応募書類の提出(送信)後に、研究計画調書等の訂正、再提出等を行うことはできません。

Ⅲ 申請方法

- (1) 申請書（様式1）に、必要事項をワード等ソフトを使用して記入（手書き不可）してください。写真・図を挿入することは可能です。モノクロ・カラーどちらでも申請いただけますが、審査委員にはモノクロで配布します。なお、同一年度における申請は、1申請者につき1件とします。

※申請書の様式は、協会ホームページに掲載しています。

→「[令和8年度交付申請書](#)」（WORD）

※昨年度から様式を変更していますので、当該年度の様式以外は使用しないでください。

- (2) **作成した申請書は、ホームページに記載の「応募サイト」から提出（送信）してください。**

Ⅳ 申請書記入方法

- (1) 「研究課題」は、36文字以内で研究内容を具体的かつ簡潔に表現してください。なお、36文字以内に表現することが困難な場合は、副題を添えてください。

- (2) 「研究課題の属する分野」は、科研費「審査区分表」5桁の小区分コードの中から最もあてはまるもの1つを、小区分名（～関連）とあわせて記入してください。大区分は上記小区分が属するアルファベット1文字を記入してください。また、記入した大区分が属する系に○をつけてください。

※申請課題は、「系の区分」ごと審査します。

※科研費「審査区分表」は、協会ホームページに掲載しています。

→（参考）科研費「[審査区分表](#)」

- (3) 「助成金の使途の計画」は、申請する研究に要する物品の購入費用及びその研究の推進に必要な経費を計上してください。

【対象経費費目】

1. 設備備品費 2. 消耗品費 3. 借料・損料 4. 資料費 5. 印刷費
6. 旅費 7. 研究協力謝金 8. 通信・運搬費 9. その他研究に直接必要と認める経費

※設備備品費がある場合は、その「名称」を、それ以外の経費については、上記「対象経費費目」を申請書に記載の上、計上してください。

※費目の詳細については、協会ホームページに掲載しています。

→ (参考) 「[費目の説明](#)」

- (4) 研究計画の概要(その1)「申請内容の要約」は、わかりやすく200～300字以内にまとめてください。また、キーワードを3つ以内で記載してください。
- (5) 研究計画の概要(その2)「3 研究スケジュール」は、2026年4月1日～2027年3月31日としてください。
- (6) 研究計画の概要(その3)「研究実績の概要」については、申請者(グループ研究では代表者とします。)が2021年以降に発表した主要な研究論文等を最近のものから順に発表年次を過去に遡って記入してください。

V 審査について

(1) 審査日程

一次審査 2025年11月～2026年1月中旬

二次審査 2026年1月中旬～2026年2月末

(2) 審査体制

一次審査 研究課題の属する4つの「系の区分」ごとに、各分野の有識者で構成する審査会で選考し、二次審査会へ推薦します。

二次審査 一次審査会から推薦された課題について、産学官の有識者で構成する委員会で総合的に審査し、理事長が採否を決定します。

(3) 審査基準

応募のあった研究課題については、下記評価項目を基に総合的に選考します。

- ・趣旨、目的の明確性
- ・先端性、独創性
- ・将来の発展性
- ・助成金の必要性 等

VI 結果通知

2026年3月初旬頃、文書で通知します。

VII 報告・特許

- (1) 原則、当該年度終了後の2027年4月9日（金）までに実績報告書（成果報告書及び会計報告書）を提出いただきます。
なお、正当な理由なく未提出の場合は、助成金の交付決定を取り消し、助成金の返還を求める場合があります。
- (2) 成果報告書は、原則として協会ホームページに公開します。
- (3) 特許、実用新案を出願されることは差し支えありませんが、その内容を協会へ報告していただきます。

VIII その他

- (1) 申請書は審査以外の目的に使用せず、応募内容に関する秘密は厳守します。
- (2) 申請書は採否に関わらず一切返却しません。
- (3) 申請受け付け後、取り下げ等変更のある方は、下記事務局までご連絡ください。
- (4) 採択した案件に関する情報（氏名、所属、役職、助成対象となった研究テーマ等）は記者発表するとともに、協会ホームページ、事業報告書、協会機関誌、贈呈式資料に掲載します。
- (5) 研究助成を受けられる方には、贈呈式を執り行う予定です。また、贈呈式と併せて開催する研究発表会において、「系の区分」ごと各1名の方に研究内容の発表をお願いする予定です。
- (6) 助成期間終了後、フォローアップ調査（アンケート）を2回にわたり実施しますのでご協力願います。

【お問い合わせ】

公益財団法人ひょうご科学技術協会 事業課
兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号（兵庫県庁1号館7階）
TEL：078-362-3845
E-mail：jigy@hyogosta.jp